

# 身近な素材を題材にして情報活用能力の育成を目指す教科 「情報」の取組

【学校名：千葉県立特別支援学校市川大野高等学園】

\*\*\*\*\*  
～取組のポイント～

親しみのある素材を使うことで学習の意欲を高め、基本的な情報機器操作の習得を図りながら生活に必要な情報活用能力を身に付けていくことを目指した。さらに、授業で学んだことを生かしてパソコン入力検定に挑戦するなどし、主体的に取り組む態度の育成につなげている。

\*\*\*\*\*

## 1. 実践の概要

### (1) 対象生徒

高等部 1、2 年生（各学年 4 学科 1 2 クラス）

### (2) 教科・領域

教科「情報」の授業（週 1 回の授業）

### (3) 目標

- ① コンピュータなどの情報機器操作の習得を図り、生活に必要な情報を安全・適切に活用する能力や態度を育てる。
- ② 1 年生でワード、2 年生でエクセル・インターネット、3 年生で画像の編集・パワーポイント、著作権などを中心に学習する。

### (4) 学習計画（年間指導計画）

	1 学年		2 学年	
目標	○生活の中で情報やコンピュータなどの情報機器が果たしている役割を知り、それらの活用に関心をもつ。 ○情報の取扱いに関する決まりやマナーを理解し、それらを守って学習する。	授業 予定 回数	○各種のソフトウェアの操作に慣れる。 ○情報機器を利用した情報の収集処理及び発信の方法が分かる。	授業 予定 回数
4 月	「オリエンテーション」 「携帯電話」（対策の必要性和方法） 「身の回りの情報システム」	2	「情報の学習について オリエンテーション」 「昨年度の復習」	2
5 月	「情報モラルとセキュリティ」	4	・パソコン操作の基本 ・文字入力 ・ファイルを開く、保存する ・プロフィールシート	3
6 月	「Word」の基礎 ・ローマ字入力 ・センタリング ・字体の変更 ・ページレイアウト	2	「Excel」の基本 ・基本操作 ・カレンダー作り 「Excel」の活用	3
7 月	「Word」の活用 ・実用文書作成	2	・売り上げ ・一覧表の活用 ・操作活用	2
9 月		2	「情報モラルとセキュリティ」 （ウイルスソフト） ・インターネットの使い方	2
10 月	「Word」の活用 ・パソコン入力検定 （検定に向けた取り組み）	1	「インターネット」 ・Google Map ・Yahoo トラベル ・電車検索 ・興味のある会社、職業を調べ、Word でレポートを作成する	2
11 月	・文字入力練習（速度部門） ・文書レイアウト練習	2		1
12 月	（文書作成部門）	2	「Word」の活用 ・パソコン入力検定（検定に向けた取り組み）	3

1月	「Word」の活用 ・チラシの作成 ・ページ設定 ・イラストコピー	2	「インターネット」 ・修学旅行調べ	2
2月	「情報モラルとセキュリティー」 ・SNSを使った他者との望ましい関わり方等	4		1
3月	「1年間の学習のまとめ」	2	「1年間の学習のまとめ」	3

## 2. 実践の内容

---

### < 1年生 >

- ・ワードによる文字入力の導入として、「校歌」や「生徒心得」を使い入力練習を行った。
- ・インターンシップで使用する「自己紹介カード」の文字入力を行った。
- ・ワードの基本的な機能は、書体・色・大きさの変更、レイアウト（左揃え、センタリング、右揃え）のプリントを作成し、行った。

### < 1、2年生 >

- ・昨年度の問題（速度部門1～4級、文書作成部門1～2級）を活用し、授業で行った。
- ・文書作成部門に関しては、本校独自の問題を作成して行った。

## 3. 工夫点

---

### < 1年生 >

- ・親しみのある「校歌」や「生徒心得」を使い、文字入力を行った。
- ・ワードの基本機能を学習できるプリントを作成し、練習した。
- ・3級、2級から練習を行い、検定前に生徒と相談し、受検級を決めた。

### < 2年生 >

- ・昨年度の問題（速度部門、文章作成部門）を活用して練習した。
- ・文書作成は2級と1級しかなかったので、形式は同様にして、文字数を増やしたり、難しい漢字を入れたりしたオリジナルの問題を作成した。
- ・3級、2級、1級からの練習や昨年度の結果を参考に、生徒と相談して、受検級を決めた。

## 4. 実践の評価（成果と課題）

---

### （1）成果

- ・授業を重ねるごとに、文字入力速度が速くなっていく生徒が多く、入力文字数が増えた。
- ・1年生96名のうち、3級に3名、2級に9名が合格した。  
2年生92名は、1年次に3級19名、2級8名、1級6名の合格者がおり、2年生になって、3級5名、2級5名、1級4名が合格した
- ・パソコン入力検定の後に、ワードを活用して「年賀状」「チラシ」を作成したが、引き続き意欲的に授業に取り組む生徒が多かった。画像のコピーや貼り付けもほとんどの生徒ができるようになり、「年賀状」「チラシ」をイラストと文字の配置を考えながら完成することができた。

### （2）課題・展望

- ・平成30年度より、1年生のみでなく、他学年も受検できるようにした。より上級合格を目指して、学習に励めるように来年度も引き続き検定を行っていきたいと考えている。なお、生徒の実態に応じて、4級以降の受検も考えていく。
- ・1級合格生徒に関しては、本校独自の受検問題を作成し、「1段・2段」といった名称で賞状を出し、意識を高めたい。また、学校外のパソコン入力検定を推奨していくようにする。